

F SPORT PARTS (TRD)

MS313-76001/2

リヤディフューザー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付は車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS313-76001-A1	杓付ノグァガラスレク(083)	CT200h F SPORT	ZWA10	'13.12 ~	
MS313-76001-C0	ブラック (212)				
MS313-76002-00	未塗装品 (プライマー処理品)				

*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。

他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

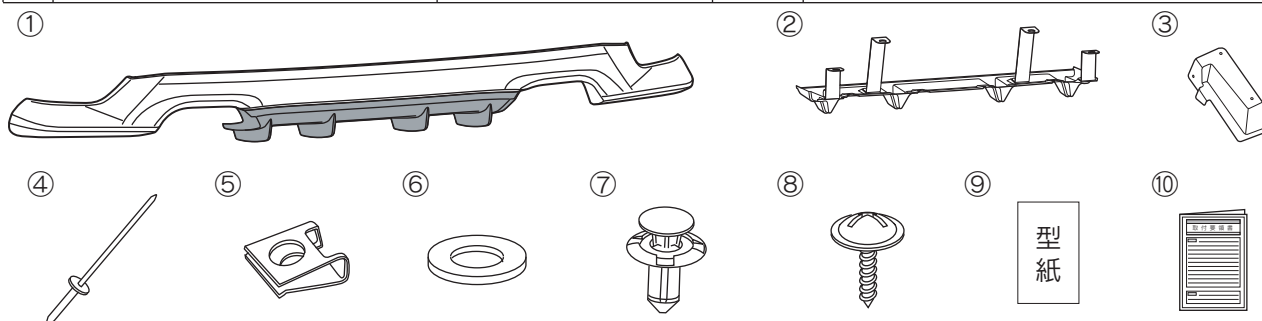
*本商品は別売りのスポーツマフラー (MS153-76001) との同時装着が必須となります。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤディフューザー		1	
②	アンダーディフューザー		1	
③	アンダーカバー		1	
④	リベット		3	
⑤	Jナット		4	M5用
⑥	ワッシャー		2	
⑦	クリップ		2	
⑧	タッピングスクリュー		4	M5×15
⑨	型紙		1	A4シール
⑩	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS313-76002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

⑪	PACプライマー		1	K-500
⑫	モール		各1	黒/グレー L=1300mm
⑬	モール		各1	黒/グレー L=500mm






以下、MS313-76002-00(未塗装品セット)のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

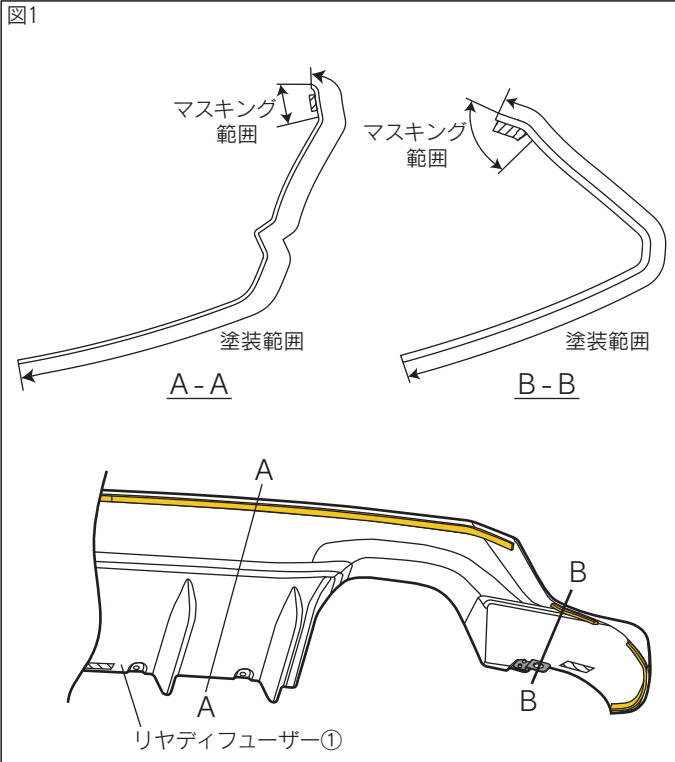
確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

確認 本商品は過去に事故歴のない車、事故歴があっても正常に修復された車には確実に装着出来ます。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット(MS313-76002-00)は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両部品の取外しに際し、タッピングスクリューの紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのリヤディフューザーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■未塗装品の取扱いについて

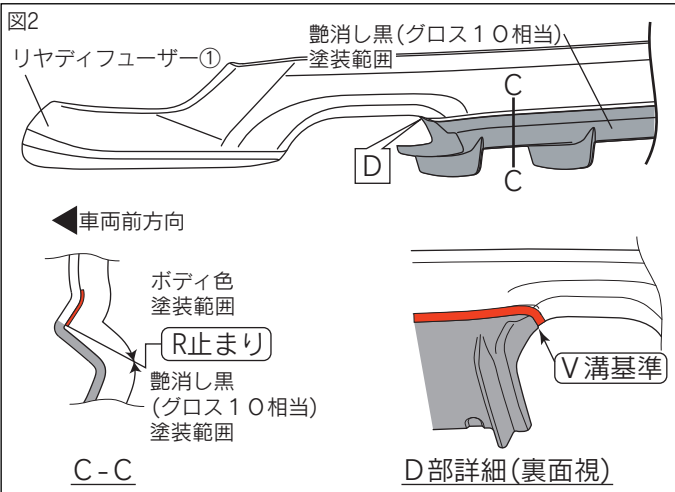
下記は、未塗装品 (MS313-76002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□リヤディフューザーの塗装

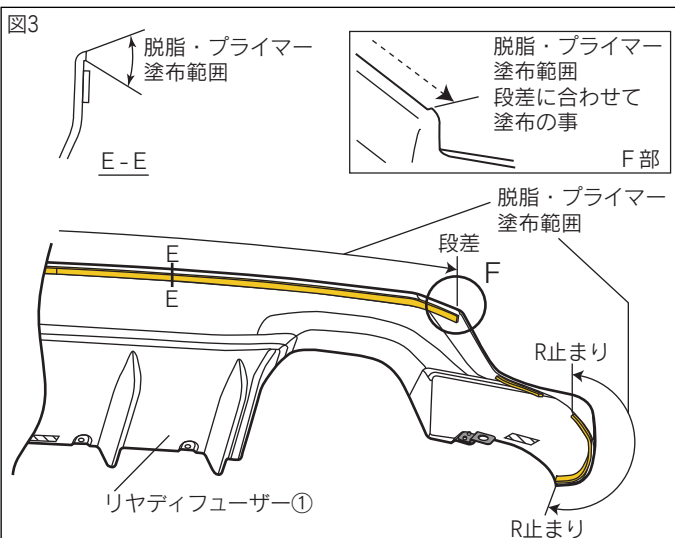
1. 図1のようにリヤディフューザー①を塗装する。
2. 図2のようにリヤディフューザー①にマスキングテープ等を貼り、見切りラインを作る。
3. 2で貼り付けたマスキングテープにあわせてその他の部分をマスキングし、艶消し黒 (グロス10) 相当を塗装する。



△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼り付け面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

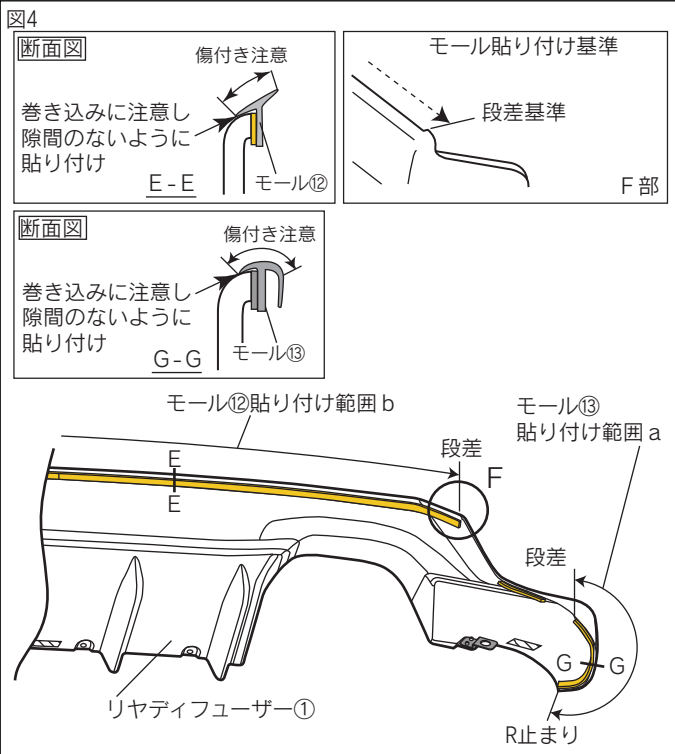


□モールの貼付け

1. 図3のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑩を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

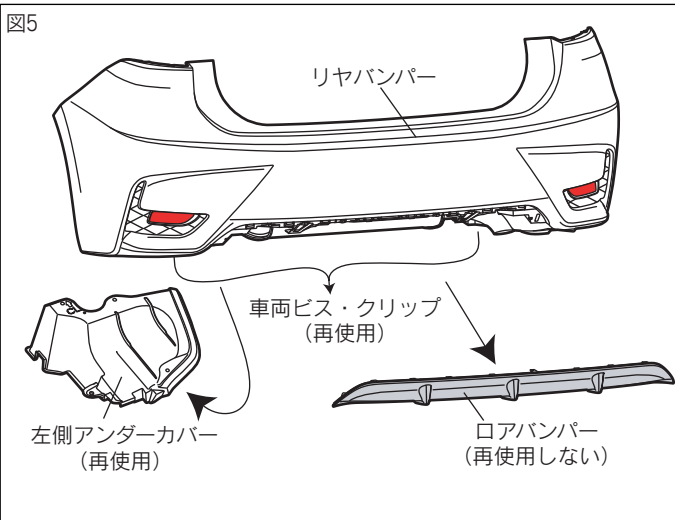


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

- 図4のようにリヤディフューザー①に、モール⑫⑬の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}
モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

🔧 アドバイス：モールは、二色同梱されています。塗装色に合わせたモール色を選択し、貼付けてください。

⚠️ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

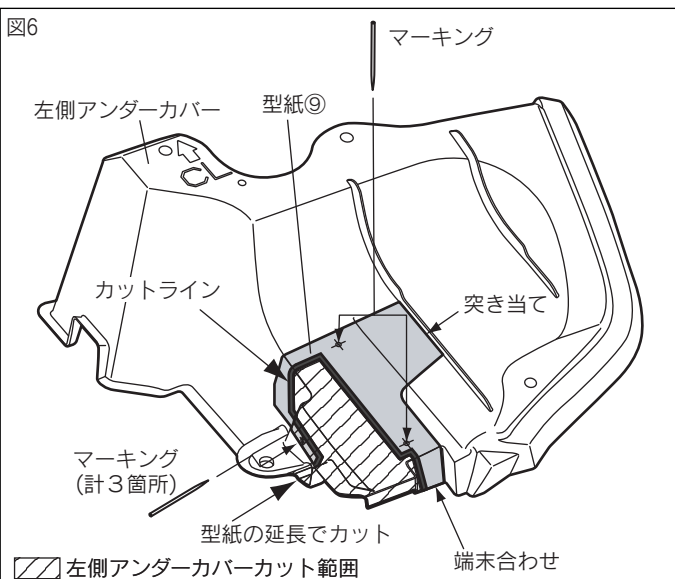


■取付準備

- 車両からロアバンパーと左側アンダーカバーを取り外す。

⚠️ 注意：取外した車両ビス、クリップ、左側アンダーカバーは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

⚠️ 注意：ロアバンパーと左側アンダーカバーを取外す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。



- 型紙⑨Aを台紙から剥がし、図6のように左側アンダーカバーの下面部に貼付け、マーキングする。

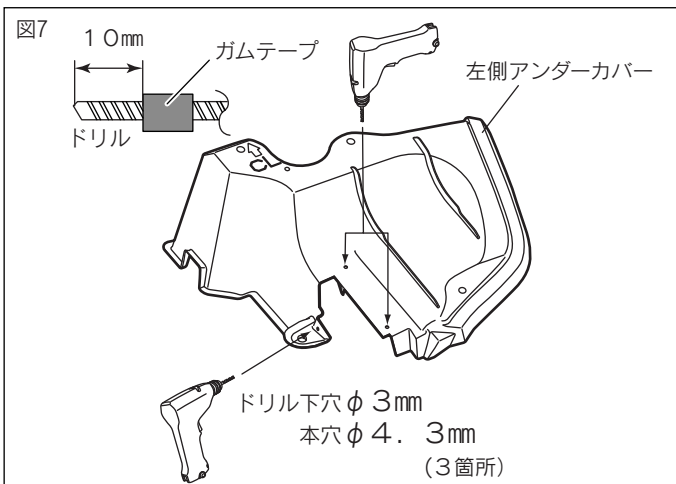
- 型紙⑨のカットラインに合わせてエアソー等で切り取ってから、切り口にできた断面のバリを取り除く。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ 注意：カットする際に、怪我に注意してください。又、アンダーカバーへの傷つきに注意してください。

⚠️ 注意：バリを取り除く時には、カットラインが歪まないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

- 型紙⑨を左側アンダーカバーから剥がす。



5. 図7のようにφ3mm、φ4.3mmのドリル先端にストッパーとなるようガムテープを巻き付け、左側アンダーカバーをφ3mmでマーキング位置に下穴をあける。(3箇所)

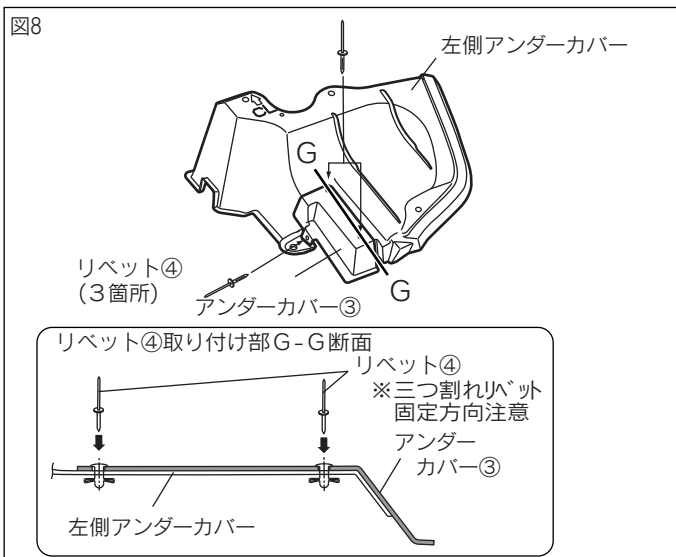
6. 図7のように左側アンダーカバーをφ4.3mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(3箇所)

△警告：穴あけ加工時に間違った寸法で穴を開けた場合は取り付けの事が出来なくなります。必ず指示寸法で穴あけを行ってください。

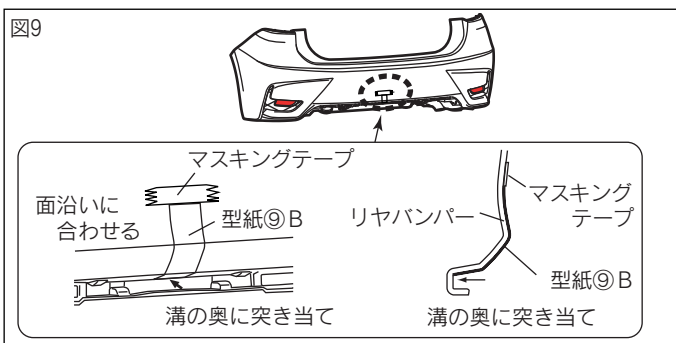
👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

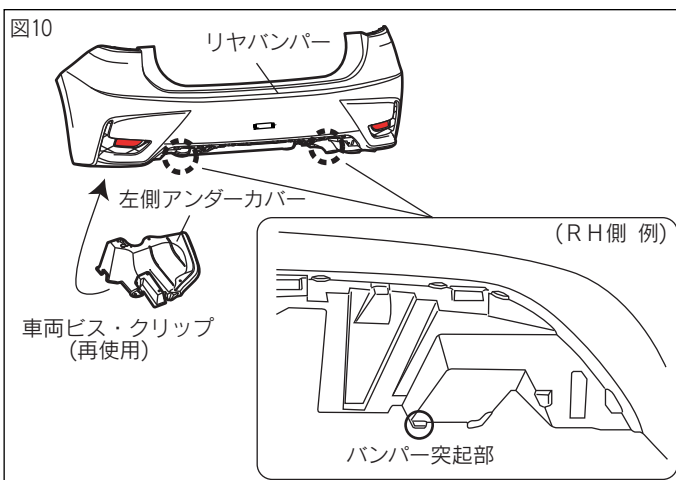
△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



7. 図8のように左側アンダーカバー切取部にアンダーカバー③を被せて、リベット④で取り付ける。(3箇所)



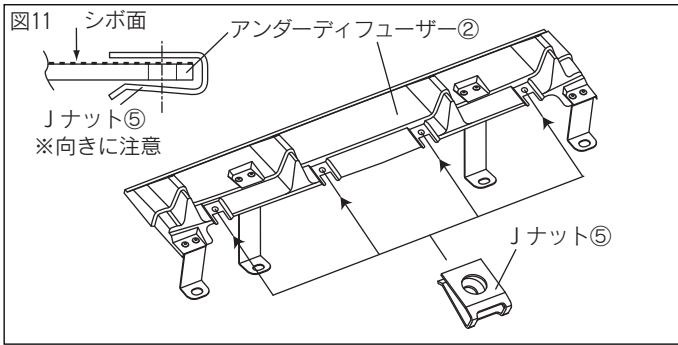
8. 型紙⑨Bを台紙から剥がし、図9のようにリアバンパーの中央の溝の奥に突き当てながら、面沿いに合わせて貼り付け、マスキングテープで高さ位置をマーキングし、型紙⑨Bを剥がす。(中央1箇所)



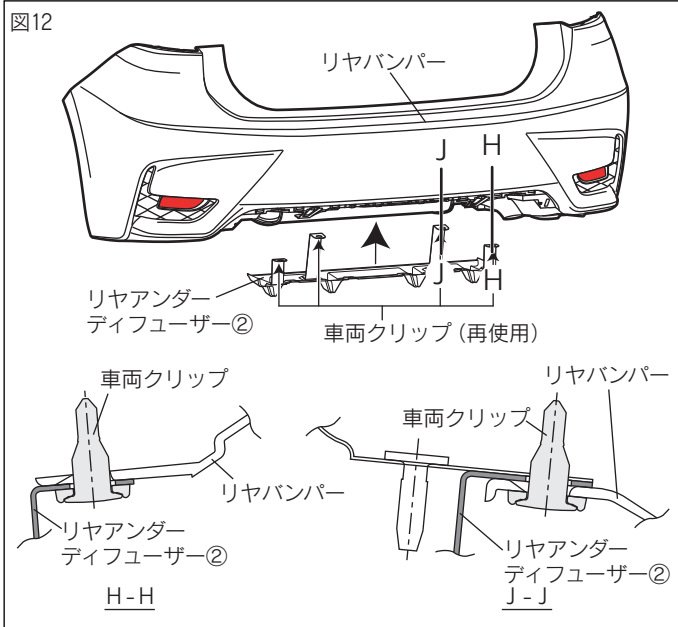
9. 図10のようにリアバンパー下面の突起を、ニッパー等で切り取ります。(左右各1箇所)

10. 図5で取り外した逆の手順で左側アンダーカバーを車両に取り付けます。

△注意：左側アンダーカバーを車両に戻す際は、車両修理書を参照し、部品の破損に注意してください。

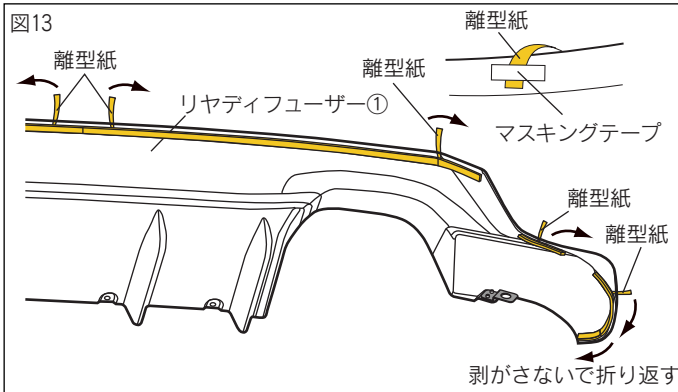


11. 図11のようにアンダーディフューザー②にJナット⑤をシボ面側が平らになるように差し込む。
(4箇所)



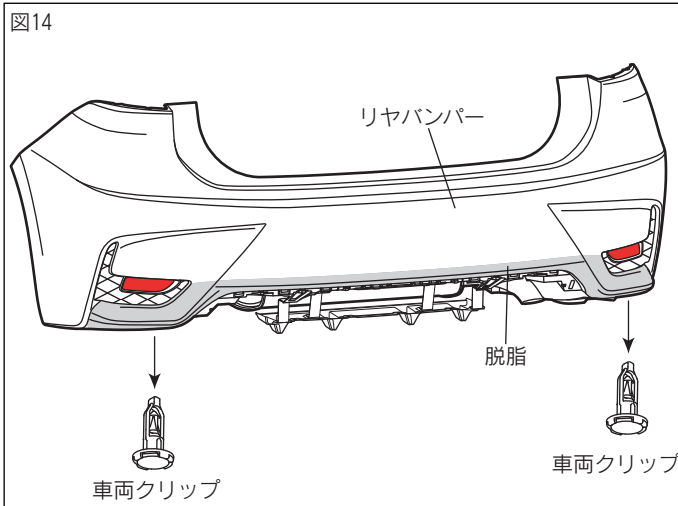
12. 図12のように車両クリップを用いてリヤアンダーディフューザー②を車両に取り付ける。

👉 アドバイス：長いブラケットは、車両パネルとバンパーとの間に、はさんでください。



13. 図13のようにリヤディフューザー①の両面テープの離型紙を、上側(左右各3箇所)は、矢印の向きに約30mm剥がし、側面(左右各2箇所)は剥がさずに、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。

⚠️ 注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。

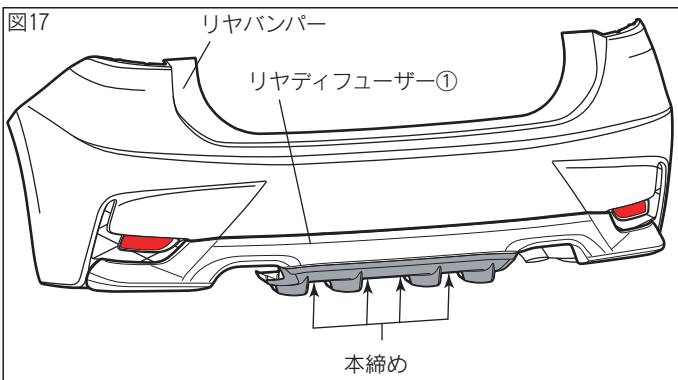
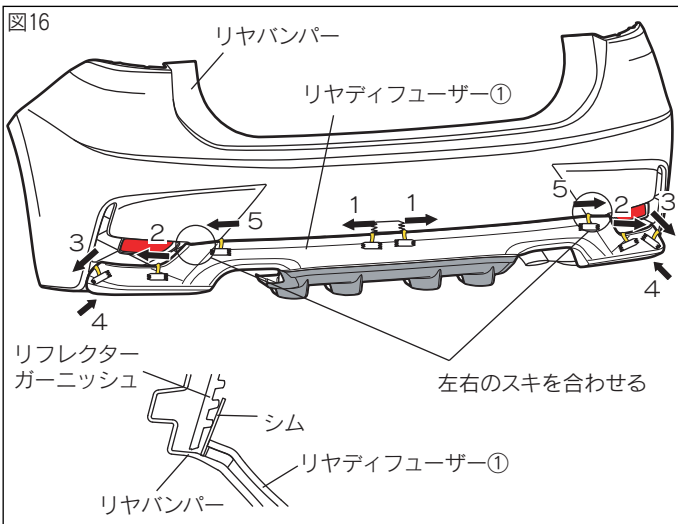
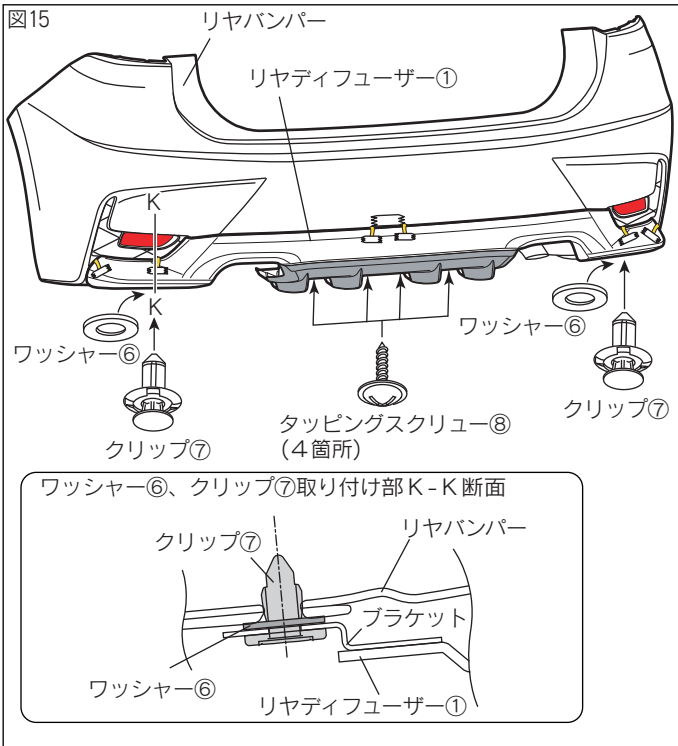


14. 図14のようにリヤバンパーのリフレクター下の車両クリップを外す。
(左右各1箇所)

15. 図14のようにリヤバンパーのリヤディフューザー①取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂する。

⚠️ 警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

⚠️ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



□取付要領

1. リヤディフューザー①をリアバンパーにかぶせ、リアディフューザー①のブラケットとリアバンパー間にワッシャー⑥を挟みクリップ⑦(左右各1箇所)で固定し、下面をタッピングスクリュー⑧で仮締めする。(左右各2箇所)
2. リヤディフューザー①中央を高さマーキング位置に合わせ、左右のリフレクターガーニッシュとの間隔が左右均等であることを確認し、1の両面テープの離型紙を剥がし貼付け圧着する。
3. リヤディフューザー①とリアバンパーのリフレクターガーニッシュの間に厚さ1mmのシム等を挟み、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙を左図番号の順に剥がし貼付け圧着する。{49N(5kgf)以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を図16で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉アドバイス：厚さ1mmのシムをご用意してください。無い場合は、厚さ約1mmのワッシャー等で代用してください。

4. 仮締めしているタッピングスクリュー⑧を本締めする。(左右各2箇所)
5. 高さ位置用のマスキングテープを剥がします。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザー、及びリアバンパーがタッピングスクリュー・クリップ・リベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。